

研修テーマ	樹木診断(危険度診断)について	参加者	埼玉支部 21名 他県支部 1名
講師	細野 哲央氏 (一般社団法人 地域緑花技術普及協会)	場所	Withyou さいたま 視聴覚セミナー室
資料	P-point 資料	記録	皆方 訓久
目的	近年大型化している台風や気候の大きな変化に伴い樹木の倒伏による被害が多くみられることから、樹木を診断する際の都市樹木のリスクマネジメント並びに危険度診断のポイントについて学び、樹木医の責任(樹木医倫理分野)が問題になる事例を用いたワークショップによって、診断や保護・保全に取り組む際の樹木医の責任についても理解を深める。		

研修内容

(第1部) 樹木医が知っておくべき都市樹木のリスクマネジメント (座学)

以下の項目についての講義をいただいた。

1. 樹木のリスク管理の体系を理解する

- ・倒木・落枝事故の責任
- ・判決・賠償の事例
- ・ケーススタディー

2. 樹木の弱点の分類と評価の仕方を理解する

- ・樹木の弱点と外観診断の point
- ・樹木の活力度とリスクアセスメント

3. 樹木点検の流れと樹木の点検・診断方法を理解する

- ・都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)
- ・東京都街路樹診断マニュアル

4. 樹木のリスクを低減させる方法を理解する

- ・診断後の措置



細野講師

(第2部) 診断の責任と樹木医倫理 (ワークショップ)

1 グループ 5~6 人の班を 4 つ作り、第一部で受けた講義の内容を踏まえて、公園のサクラが隣接する道路側に倒れ、走行してきた車両を直撃したという事例について、以下に示すような 2 つのケースについてのワークショップを行った。

CASE1

- ・樹木点検業務は、技術について信頼している造園業者の A 氏に一括で下請けに出した。
- ・A 氏は従業員の B 氏と分担して点検を行ったが、A 氏と B 氏は樹木医資格を持っていない。
- ・A 氏から戻ってきたカルテには、記入漏れがあったが、経験側から推測してカルテを作成した。

CASE2

- ・樹木点検は、公園管理者から依頼されて、樹木医会支部で研修会を兼ねて受けたボランティアの点検であった。
- ・倒伏した樹は点検業務が未経験の C 氏が行った。



ワークショップの様子